投資事業評価調書 (新規)

課室名 | 砂 防 課 | 記入責任者職 氏名 | 砂防課長 西川 | 昌一 | 内線 | 4459 | (担当者氏名) (尾崎 幸忠) (4465)

車米		声 光 <i>勺</i>	古光	IV III		/ * = 1
事業	砂防事業			区間	松声光弗	億円 約 5 . 5
種目		通常砂防事業出石郡但			総事業費	糸り つ . つ
				大河内	*	<u> </u>
		所 在 地			着工予定年度	
出石郡 但東町					H12年度	1 10 4
上工法似由是然		事業目的		事業内容		
	流災害対策			ᄀᄔᆢᆝᄻᄼᄑᅟᇽᄫ		
-		であり、土砂災害の危険				
		設置することにより、地域 tっ				
<u>□</u> •;	財産を保全す	o 6.	(H= 9.0m, L=57m)			
				(H= 1 1 . 0m , L = 6 5m)		
÷π /≖ ²						
評価						
(1)必要(点,公川 は上天流在除河流でも2				
安全	·安心	・向ヶ谷川は土石流危険渓流である。				
		▶・既設砂防設備はあるが、土石流対策としては整備率が20%と低い水準で				
		ある。				
		保全対象:人家=15戸、公共施設=町道				
		*生活道路である町道が被災すると一時的に地域が分断される。				
ルピッンエルル		ᇄᇝᇦᆡᆍᆂᇉᆸᇬᆝᇄᄣᆖᅶᇶᅜᆂᆇᆍᅕᅜᇰᄼᆇᆇᆡᄟᄭᇚᄯᇛᇶ				
地域の活性化		▋ <mark>・砂防ダム工事により土砂災害が軽減され下流域の有効な土地利用が図れ</mark>				
		るようになる。				
1± >++ 1/1		ガノも実によりもて流を止め、て流せるのもがの変を吹しまってした。				
快適性・ゆとり		・ダム設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することによ				
		り生態系の破壊を軽減する。				
7 o //l-		ルニムこの主光ルトの五色が治し				
その他		地元からの事業化への要望が強い。				
		過疎対策法対象町、山村振興指定地域及び豪雪地帯対策特別指定地域				
		に該当し、砂防ダム整備により地域間格差の是正に寄与する。				
(2)有効性・効率性						
有効性		▼·人命 , 財産 (人家 1 5 戸) が保全されるので、事業実施による投資効果は大				
		きい。				
効率性		・地元からの要望が強く、町等の協力体制が有るので円滑な事業執行が可				
双学注		・・地元からの安望が強く、町等の協力体制が有るので円滑な事業執行が可 能である。				
		能である。				
		・車業に伴う地形の功亦を見小阳にレビめ、下東にヒス注面については細ル				
(3)環境適合性		・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、工事による法面については緑イを図るなど環境保全に努める。				
		を図るなど境保策に分のる。				
 (4)優先性						
(中/ 変元]生		■ 上石流の被害忠定区域には休主人家が多く、流域内の疾岸・山腹の流 ■ 廃は進んでおり、土砂流出の危険性も増しており、ダムエ3基を一連て				
		■ 廃は進んであり、上砂流山の危険性も増してあり、タムエ3 墓を一選 ■ 施行し、地域の抜本的な土砂災害対策を進める必要がある。				
評		」他付し、地域の扱本的な工妙災害対策を進める必要がある。 左				
	手妥当		手が 平 レ	韧めらわた	_	
の結		の 審査の結果、事業着手が妥当と認められた。 理 ■				
果		曲				
木		円				